

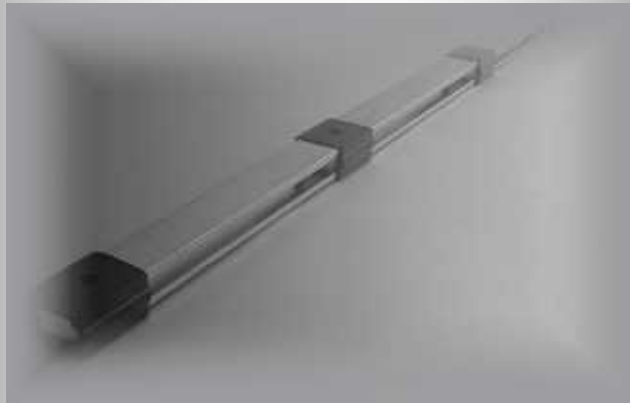
防音下地材

音パット

取り扱い説明書



Be Silent



美しいほど静か

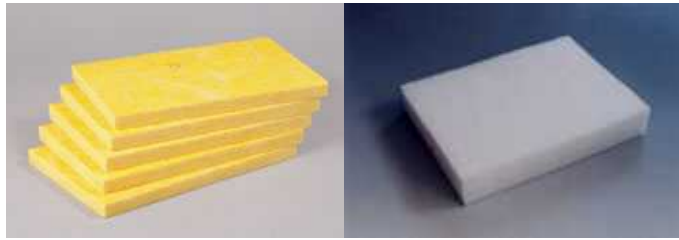


施工に必要なもの



防音下地材音パット

建物の外と内の間に空気層を作り、音の振動エネルギーを約80%カットできる防音下地材（防音・防振根太/間柱）です。



グラスウール64kg/m³ / ポリエステル材30kg/m³

音パットの間敷き詰める際必要となります。仕様により、どちらか必ずご使用下さい。



サイルシート

アスファルト系の建築用床防音マット。住宅の床下やマンション、オフィス等の二重床の防音・制振として使用されます。（サイズ）910mm x 455mm



接着剤

音パット、静音パネル固定の際に使用する接着剤はコニシ株式会社の「ボンドG17」又は同等品を必ずご使用ください。

軽天ビス

音パット、静音パネル固定の際に使用するビスは軽天ビス又は同等品を必ずご使用下さい。（ビスの長さは28mm）



高速カッター/ディスクグラインダー

音パットの長さを調整する際必要となります。金切用の刃も必要となります。

施工手順

※各注意事項と別頁注意事項をよく読み、正しく施工して下さい。

① 音パットの取付



下地がコンクリートの場合、音パットゴム部の裏側に接着剤を塗り、固定して下さい。



下地が木質の場合、音パットゴム部の穴からコンパネビス又は同等品で固定して下さい。



音パットを303mm間隔に並べ、固定して下さい。また、壁との間を3mm必ず空けて下さい。

② エコパットの切斷



音パットの長さを調整する際は、高速カッターやディスクグラインダー等で簡単にカットできます。



音パットを合せ位置のシールと反対側からカット後、スチール部からゴム部を外し、切った端部にゴム部を差し込みます。

③ 吸音材の敷込み



音パットの間は64Kg/m³のグラスウール、又は30Kg/m³ポリエステル吸音材を敷込んで下さい。



厚さ12mm以上のベニヤを捨貼りして下さい。ただし壁との間を3mm必ず空けて下さい。



捨貼りベニヤ同士の間は必ず3mm空けて、ビスで音パットゴム部の上から固定して下さい。

④ ジョイント部の対応



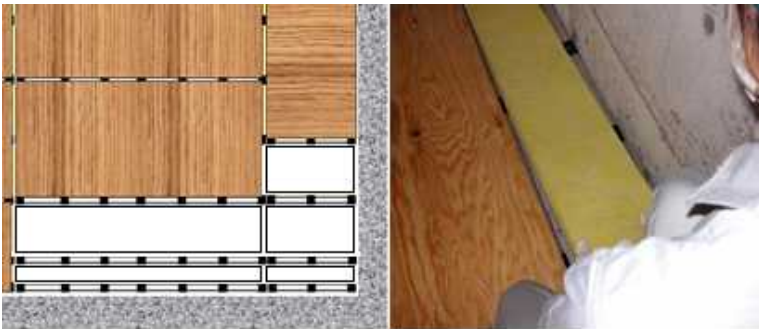
捨貼りベニアのジョイント部がスチール部になる場合、付属のゴムパッキンをはさみでカットし写真のように貼り付けて下さい。

⑤ レベル調整



下地のレベル調整は、音パットの下にカットベニアなどを敷込み調整して下さい。
スラブのレベル調整が3mm以上必要な場合は、左官補修して下さい。

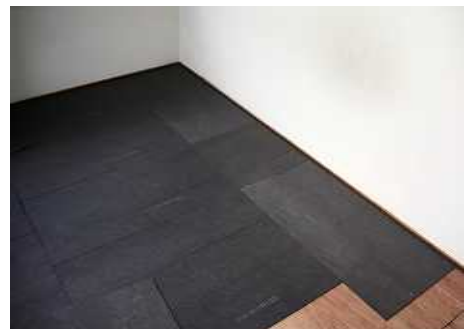
⑥ 壁際の調整



音パットは**必ず303mm間隔以内**に納まるよう取付けて下さい。

音パットの間には**64Kg/m³のグラスウール**を敷込んで下さい。又は**30Kg/m³のポリエステル吸音材**を敷込んで下さい。
12mmのベニア（F ）を適当にカットし、ビスで固定して下さい。

⑦ サイルシートの敷込み



パネルの上部にサイルシート（制振材）を敷込んで下さい。

仕上げのフローアの釘が下地のスチールフレームに当たらないように、フレームの場所を罫描いて下さい。



注意

音パット、捨貼りは確実に壁より離して施工してください。床衝撃遮断性能が大きく変わります。

捨貼りベニヤとベニヤの接合部は確実に離して固定して下さい。踏み鳴りの原因となります。

壁際の調節の際埋め込む吸音材はグラスウールの $64\text{K}/\text{m}^3$ 以上のもの、又はポリエステル吸音材 $30\text{K}/\text{m}^3$ をご使用ください。床衝撃遮断性能が変わります。

音パットはフレームに薄い金属が使用されております。必ず軍手をご使用下さい。手を切る可能性があります。素手では危険です。

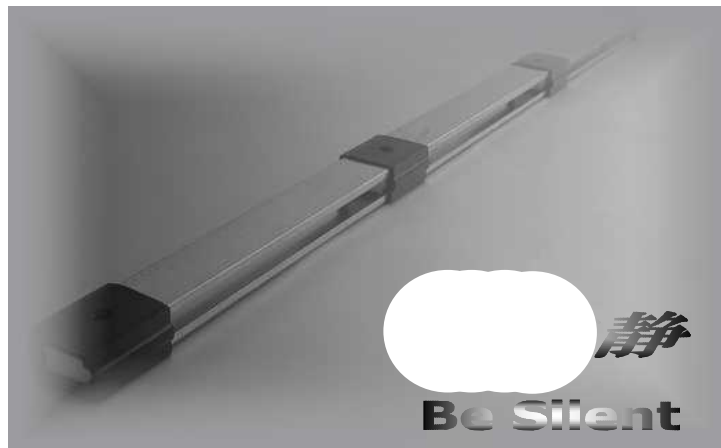
音パットのフレーム部分は薄い金属の為、絶対に上に乗ったり、重量物を乗せたりしないで下さい。

音パットを濡らすと反りの原因となりますのでご注意ください。

捨貼りを施工後に重量物（仕上材、制振材等）を落したり、投げたり、1箇所に集中した仮置き等をしないで下さい。美静パネルの支持フレームの破損原因となります。

重量物を置く事が想定される場合は、音パットの施工間隔を150mmにし、敷板を追加して重量を分散するように補強して下さい。

下地のコンクリートスラブが3mm以上のレベル調整を必要とする際は、左官補修して下さい。



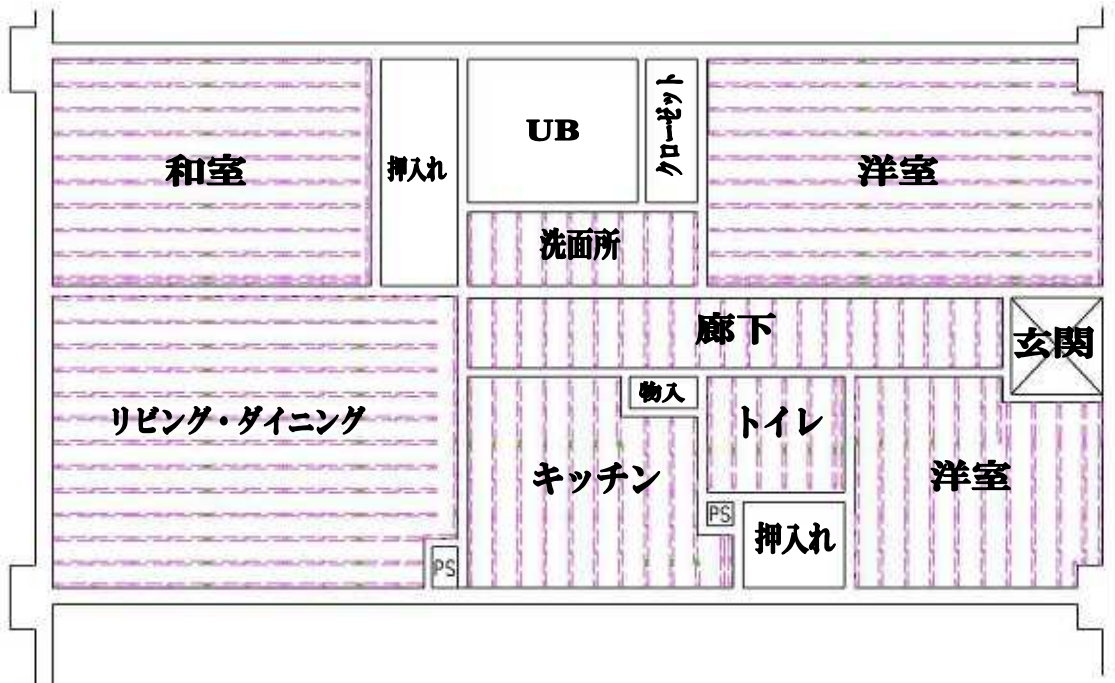
(特許取得)

 **有限会社幸昭** コウショウ

〒417-0002 静岡県富士市牧田橋770-5 TEL:0545(32)1121 URL :<http://ecopat.ftw.jp/>

基本割付・納まり図

壁先行標準割付図



音パット必要本数目安

4.5畳
1800S...約10本
900S...約10本
6畳
1800S...約20本
900S...約4本

8畳
1800S...約24本
900S...約11本
10畳
1800S...約28本
900S...約12本

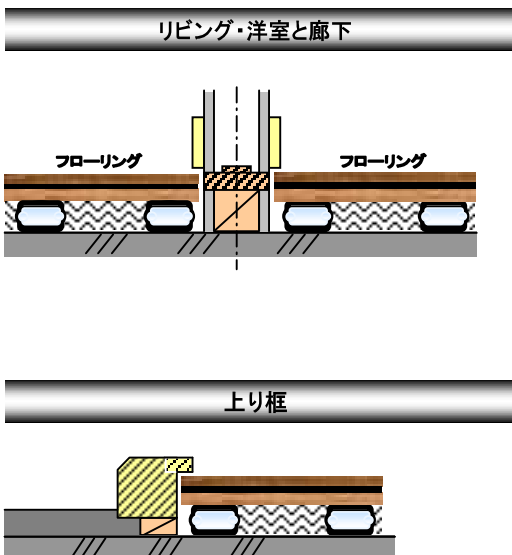
吸音材必要枚数目安

4.5畳 ...約28枚
6畳 ...約40枚
8畳 ...約50枚
10畳 ...約65枚

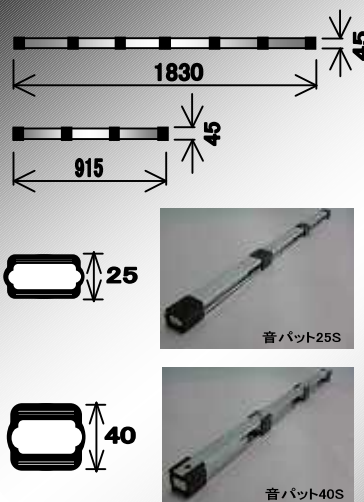
サイルシート必要枚数目安

畳数の2倍の数

壁先行納まり図



音パットサイズ



吸音材サイズ

